



吉舎中だより

令和4年6月17日（金）
第2号
吉舎中学校長 名越 隆樹

【学校教育目標】

志高く学び 吉舎に貢献する生徒の育成

第64回体育祭

One Team

～最後まで全力で、笑顔いっぱいの体育祭～

6月4日（土）に、晴天に恵まれ、体育祭を開催しました。昨年度は、コロナ禍の影響により、秋に延期となり、無観客での開催となりましたが、今年度は、感染防止対策を施しての保護者観覧のもと開催できたことは、生徒にとっても、保護者にとっても、学校にとっても、思い出に残る体育祭になりました。競技種目を絞っての半日開催でしたが、時間的余裕をもって適宜休憩をとることができたので、生徒は、水分補給や休養ができ、熱中症対策にもなり、無事終えることができました。どの競技・演技も全力で挑む生徒の姿に感動しました。特に、赤団、青団に分かれてのダンスは、3年生が考えた振付を1・2年生もしっかりマスターして、全体としてまとまりのある演技でした。このダンスは、本校体育祭の伝統であり、3年生は、リーダーシップを発揮する場でもあります。最初の頃の練習では、なかなか振付が覚えられなかったり、タイミングが合わなかったりする生徒の姿が見られましたが、赤・青の両団ともにダンスに磨きをかけ、素晴らしいものに仕上がっていました。本人たちも納得のいくものだったと思います。また、見ている方も満足させてくれるものでありました。最後になりますが、PTA役員の方をはじめ、保護者の皆様には、感染予防対策や片付け等のご協力をありがとうございました。



1年種目



2年種目



3年種目



赤団ダンス



全校リレー



青団ダンス

花植えボランティア

輝け吉舎中 挨拶・笑顔
花と歌声のあふれる学校

6月14日（火）に花植えボランティアを行いました。

本校では、数年前から広島県みどり推進機構のみどりづくり活動支援事業の助成を受け、校区内各学校や地域の方に呼びかけ、プランターへ花の苗を一緒に植え、校内や町内の施設や民家に設置する美化活動を年2回行っています。

このボランティア活動を通して、自然愛護や地域貢献の精神、愛校心、郷土愛を育てるとともに自己有用感を高めることをねらいとしています。

今年度は、吉舎中学校生徒会生活保健委員会が中心となり、校内でボランティアの参加を募るとともに、吉舎小学校および八幡小学校の児童、民生委員さんにも呼びかけ、集まった総勢65名で花の苗を植えました。

あいにくの雨天の中ではありましたが、10グループに分かれ、互いに協力して花の苗600株（サルビア、日日草、マリーゴールド）を200個のプランターに短時間で植えることができました。このプランターは、花の世話をお願いする生徒の手紙を添えて、民生委員さんの協力を得ながら後日、町内に配付するなどします。

次回は、10月17日（月）に2回目の花植えボランティアを予定しています。



（裏面にも記事があります。ご覧ください。）

ようこそ先輩(全校講話)～岩崎 吉剛さん～ kissa 経営

6月7日(月)に、本校体育館で、ようこそ先輩(全校講話)を実施しました。これは、学校教育目標の「志高く学び」にあるように、なるべく早く自分の夢や目標を持ち、それに向けて「挑戦」「努力」して行ってほしいと願い今年度から年2回実施することとしました。

第1回目の講師の先生として、本校の学校評議員でもあり、吉舎でkissaという喫茶店を運営されている岩崎吉剛(よしたか)さんをお招きして中学校時代から現在に至るまでの経緯やこれからの夢、中学生へのメッセージ等を語っていただきました。講話の後の生徒からの質問にも丁寧に答えていただきました。もう少し時間があればというくらいに積極的に生徒たちは尋ねていました。

生徒感想 (一部抜粋, 修正)

- 私が印象に残ったことが二つあります。一つ目は、私は、今、将来やりたいことがないので、岩崎さんのように好きなことを仕事にしていけたらと思いました。二つ目は、「思ったことをいう」ことが大切であると話されたことです。私は、相手のことを気に過ぎて思ったことを言わないことがあるので、話していけたらいいなと思いました。(1年女子)
- 僕が特に印象に残ったことは、「自分が思っていることは言葉にする」という話です。僕は、これから自分の思いをもっと積極的に話そうと思いました。そして、自分の意見や考えをちゃんと伝えられるように頑張ろうと思いました。(1年男子)
- 岩崎さんの話を聞いて印象に残ったところは、「自分の好きなことをみつけ、失敗してもいいからやってみる」というところです。私も絵を描くのが好きなので、あきらめずに続けることを意識していきたいです。私は、将来の目標についてはっきり決まっていなくても、今日話をしてくださったことをヒントにして考えていきたいです。(1年女子)
- お話を伺って、自分は、これからの将来の夢が決まってないからって焦ったりするのではなく、今から遅くないのでゆっくりと将来について考えようかなと思いました。また、岩崎さんのお店にも行ってみたいと思いました。(1年女子)
- 岩崎さんのお話を聞いて、私はこれからもっと様々なことに「挑戦」していきたいと思いました。心に残ったことは、「親や大人がいうことが全部合っているわけではない」ということです。親や大人の言うことで全部決めるのではなく、自分で考えていきたいと思いました。これから2年生、3年生になるので、今から自分にできることを探していきたいです。(1年女子)
- 岩崎さんの体験等を聞き、たくさんのことを学び、考えることができました。これからどんな学校へ行ってどんなことを学んでどんな職業に就くか等、たくさんを選択をしなければならぬ場面があるけれど、自分の意志や考えを大切にして選択していきたいと思いました。岩崎さんでも、「自分はどんな人なのか分からないところがまだある」そうなので、自分をもっと自分を知るのに時間がかかるなと思いました。(2年男子)
- 今日は、人生の先輩から良い話を聞くことができ、それを生かそうと思いました。自分は、親の言うことはまあ聞くけど、岩崎さんはすべての事を従っていてすごいなあと思いました。「正直に言った方がよい」については自分もそう思うし、「ありのままがいい」については、高校受験の時に、役に立つと思うので覚えておこうと思いました。(2年男子)

- はじめは、話を聞いても「生き方のキーワード」が見つかるのかどうか分からないと思っていました。実際に話を聞くと、岩崎さんの今までの苦労を知ると同時に、一つの転機でいろいろなやりたいことが見つかるのだということが分かりました。その中で、私が見つけた「生き方のキーワード」は、「今の気持ちを素直に表現する」ということです。私はあまり自分の意見を伝えられていないと改めて気づきました。そして、一つの考えがどんどん新しいことに発展することも分かりました。岩崎さんの人生を聞いて良かったし、すぐくためになったと思います。面白かったです。(2年女子)
- 岩崎さんの子どもの頃のエピソードやカフェのことを聞いて、壁にぶち当たったけれど、周りの人の言葉で乗り越えることができたということが印象に残りました。岩崎さんには、反抗期はなかったらしいけれど、「自分の言いたいことは言った方がよい」とおっしゃっていたので、喧嘩にならない程度にはしっかり言おうと思いました。(2年女子)
- 岩崎さんの小学生の頃から今現在のことまでを話してくださいました。僕は、そこまで厳しく育てられていませんが、その経験が今につながっているということが分かりました。自分もこれからは素直に生きていこうと思いました。(2年男子)
- 岩崎さんの話で、一番印象に残っているところは、「自分の言いたいことはちゃんと言う」や「小さなことでもやりたいことを見つける」ということです。自分の気持ちは伝えないと相手はわかってくれないと改めて思ったし、やりたいことを見つければ、それを叶えるために努力できると思いました。これからいろいろな選択があって悩むことが多いと思うけれど、その時は、自分の意志も大切にしようと思いました。(3年女子)
- 一番印象に残ったことは、いろんな仕事をされた中で、吉舎町で、今、仕事をされているということです。私は、一つの仕事をやり通していくことが普通だと思っていたけれど、自分が生まれ育った町で、お店を開いた岩崎さんはとってもかっこいいと思いました。そして、反抗期がないと聞いてすごいなと思いました。私は、kissaが好きです！！これから開かれるタコスのお店を楽しみにしています。お仕事頑張ってください。(3年女子)
- 岩崎さんの喫茶店を開かれたきっかけや社会の厳しさの話聞いて、チャレンジしたり、周りの人からのアドバイスや協力等で支えてもらったりすることも大切なんだと思いました。長い間勤めていた会社を、ついていけないと感じたら辞められたように、あきらめることの大切さも知りました。岩崎さんのように将来のことは自分だけで決めるのではなく、別の人の影響を受けて考えていってもよいと分かりました。(3年男子)



岩崎さんによる講話



生徒からの質問